

B 日 程

〈出典一覧〉

- | | | | | |
|-----|-------|-----------------------|-------------------------------|-----|
| 国語 | 内田芳明 | 『風景の発見』 | 朝日新聞社 | |
| 国語 | 岡崎武志 | 『読書の腕前』 | 光文社 | |
| 国語 | 三角洋一 | 石埜敬子 | 新編日本古典文学全集 39 『住吉物語 とりかへばや物語』 | 小学館 |
| 日本史 | 古瀬奈津子 | 『撰関政治 〈シリーズ 日本古代史 6〉』 | 岩波書店 | |
| 日本史 | 畠山記念館 | 離洛帖 | 藤原佐理筆 | |

第一問 【共通問題】 現代文

(一) 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

興味深いことに人は日常生活のいたるところに、その場面、場面に、風景という言葉を用いると使用しています。例えば「街並みの風景」とか「塔のある風景」とか、こうした画家の絵の題材になりそうなものだけではなく、「親子団欒の風景」「劇場風景」「舞台風景」「練習風景」「会議風景」といった人間の日常生活の諸場面、諸シーンや人間集団の動向・状況・様子・光景といったものを表すにも使用されています。また更には、そうした日常生活の場面とがでなく、もっと抽象的な、あるいは観念的なこととか、イメージとか、単なる外的傾向とかいうものに対しても使われています。空海についての司馬遼太郎の小説は『空海の風景』となっております。そのほか『文化の風景』とか、『心の風景』、『精神の風景』とか、『出合いの風景』とか、『音楽の風景』、『町に音楽のある風景』とか、『風景論の風景』とか、――考えてみますと意味内容がよくわからず不鮮明であったり、直接風景とは何も係らないと思われるような事例や事実や世間の傾向といったものにまで風景という言葉が極めて自由に使われており、とにかくそれらの風景という言葉の多様な使い方の中心に、いわば風景概念の日常化と言いうような現象が見られるのですが、ここに、風景という言葉に対する、人の何かしら特別な感情や無意識ながら何らかの思い入れが現れていると言えらると思います。風景という言葉への愛着、ある親しみ深い感情が示されていると言っているように、そのことはまた、同じようによく使われる「景観」という言葉とか、おそらく風景よりもっと古くからの大和言葉であるはずの「けしき」(景色)という言葉とか、と比較してみますと、風景という言葉への偏愛の傾向が一層はつきりしてくるでしょう。そのほか「風情」とか「情景」とか、「光景」とか「風景」とか「景観」とかという言葉も持ち出して、「一緒に比較されるべきでしょう。」「冬景色」「海岸の景色」「夕焼けの景色」などと言いますが、そしてこれらは風景という言葉でも言いかえられうるわけですが、しかし「劇場景色」「練習景色」「音

楽の景色」「出合いの景色」などとは言いません。(中略)「景観」についても同じようなことが言えるので、「冬の景観」「劇場景観」「練習景観」「音楽の景観」「出合いの景観」「文化の景観」などとは言わないでしょう。「景観」という言葉は、「駅前」の景観」「都市景観」「建物の景観」「町の景観デザイン」「湾の景観測量」とか、いろいろに使われます。それは狭い部分の局部的・場所的外観を言うのに使われているようです。そして例えば『街並みの景観に関する記号学的研究』(門内輝行、一九九七年)などのすぐれた研究にみられるように、いろいろ成果が現れてきています。このように景観概念が一般に愛用されるだけではなく、学問的に有効な役割を果たしていることは事実なのです。

ただ、今日の自然環境破壊を進行させてきた人間と文化の強大な機動的な衝動諸力を前にして、自然と人間と文化の再生はいかにして可能か、という問題関心からすると、景観概念では対応していけない、と思われるのです。そのためにせせむせも、一方で、風景概念のそもその原点、すなわち自然風景に立ち返らねばならないと思います。他方でその場合人間の心の観照、すなわち風景において自然の生命と心を観得する風景感情の覚醒が生ずることが重要で、それは、「景観」のように、主として人間の側の文化的・美的価値尺度の立場、主観性の立場ではなく、風景の他者性への転換、自然の原初性への復帰、が生じなければならぬのです。(中略)「景観」概念は、「風景」のような射程距離の大きさや感情的な思い入れの深さを持つてはいけません。

さて、問題をもとにもとせしめて、このように風景という言葉は広く日常生活の様々の場面、場面に借用されてはいませんが、この言葉が使用されない方面があることも事実です。例えば、戦争・殺戮・闘争・爆撃・爆発・噴火・火災・突進、などという方面にはまさか風景という言葉が使われることはないでしょう。むしろ「光景」ならば、「殺戮の光景」「爆発の光景」「火山噴火の光景」「車の暴走する光景」などと言われうるでしょう。このように考えますと、風景という言葉の使い方の中心には、戦争とか殺害とか爆発とか暴走とか、何かそういう、現象や行為の破壊的な方面、劇的な **A** 瞬間的状況などの方面と、正反対の方面のことに使われているように思うのです。つまり風景という言葉には何か平和な状態性、静かで親しみある平和な情景というものがイメージとしてふくまれていて、言えるのではないのでしょうか。

風景概念のこのような使用のされ方の中には、その本質の一つの要素として、この平和的なるもの、静かなるもの、生活的なるもの、のたなずまい、一瞬と止まって休息しているたなずまい、すなわち「姿・形」(フィギュラト)という、意味がふくまれているようなのです。つまりは戦争とか闘争とか労働とか運動とかいうものの対極にある一つの世界、がその概念の含意として余韻としてふくまれていると思うわけです。例えば「練習風景」という時に、そこでイメージされているのは、まさか練習そのものの **A** 変化の過程ではないでしょう。そうではなく、練習の一場面の一瞬をとどまる姿として、いわば風景としてとらえるイメージが、その関心事であるはずで、

人は無意識に風景という言葉、そのように日常化して多用しているわけなのですけれども、しかし人がそのように日常化し風景という言葉を用いて風景という言葉の愛好を示していることの無意識の底には、風景概念の持つているこの実に本質的な契機として、見られる対象の生活状況、一瞬のとどまった「姿・形」として見るといふ心的契機、つまり風景として見るといふ心的契機がふくまれていると思われのです。ところで風景がこのような平和と静けさと休息とを語るその本来の場所は、そのような人間の場所や生活の諸場面や文化的場面などでは決してなく、ほかならぬ自然なのであり、自然風景であるということ、そしてこの自然風景の隠喩として表現されているのだ、ということもまたそこから推察されるのです。したがって、私たちはこの本来の風景の発源地、すなわち自然風景に立ち返ることがまず求められているのだと思います。

(内田芳明「風景の発見」)

問1 諸ダン面の「ダン」と同じ漢字を用いているものを次の中から一つ選び、その記号をマークしなさい。解答番号は①

- ア 文章のダン落
- イ とうとう決ダンした
- エ 温ダンな気候
- オ ダン話室で話し込む
- ウ 朝礼でダン上に立つ

問2 bの読みをひらがなで記しなさい。解答番号は②

覚醒^b

問3 司馬遼太郎の作品を次の中から二つ選び、その記号をマークしなさい。解答番号は③

- ア 坂の上の雲
- イ 敦煌
- ウ 野火
- エ 恩讐の彼方に
- オ 童馬がゆく

問4 風景という言葉の多様な使い方とあるが、風景という言葉が持つイメージの幅を、比喩的に表現した部分を本文中から八字で抜き出さなさい。解答番号は④

問5 ③「一緒に比較されるべきでしょう」とあるが、「一緒に比較」する意図は何か、もっとも適切なものを次の中から選び、その記号をマークしなさい。解答番号は⑤

- ア 人が風景という言葉に特別な愛好を抱いていることを明らかにするため
- イ 風景概念の日常化の過程を、類似語の派生状況を通して説明するため
- ウ 類似した言葉を想起させることで、日本語の多様性に気づかせるため
- エ 学問的に有効な役割を果たしているか否かの観点で検討を加えるため
- オ 様々な概念の日常化には厳密なルールが存在することを確認するため

問6 ④「景観概念ではやっつけていけない」とあるが、それはなぜか、景観概念の特徴を踏まえつつ、四十字以内で説明しなさい。その際、頭語を「景観概念は」とすること（ただし、頭語は字数に含めない）。解答番号は⑥

問7 空欄 A (二箇所)にはいる語句として、もっとも適切なものを次の中から選び、その記号をマークしなさい。解答番号は⑦

- ア 公的な
- イ 質的な
- ウ 全的な
- エ 動的な
- オ 物的な

問8 たたずまい⁵とあるが、この言葉と同様の意味を持つ語として、もっとも適切なものを次の中から選び、その記号をマークしなさい。解答番号は⑧

- ア 境遇
- イ 子細
- ウ 立位置
- エ 雰囲気
- オ 認識

問9 次に挙げた筆者の姿勢が、本文の内容と一致するものには①を、一致しないものには②をマークしなさい。解答番号は⑨、⑩

- ⑨ 人が「風景」という言葉に対してある種の愛好や親しみ深い感情を示すことを、司馬遼太郎の作品名を例に挙げて説明している
- ⑩ 変化の過程を追うイメージをふくまないため、「風景」という言葉は現象や行為の破壊的な方面には用いられないと指摘している
- ⑪ 人が自然風景に立ち返りさえすれば、自然環境破壊を進行させてきた人間が文化と自然の再生をなしうるはずであると訴えている
- ⑫ 「風景」という言葉の日常化および多用について究明すると、その概念の心的契機として自然風景への愛好が伺えると述べている
- ⑬ 風景概念の本質は、人工の場所や生活の諸場面などを表現することではなく、それらに対する使用は自然風景の隠喩だと推察している

(二) 次の傍線部のカタカナを漢字に書き改めなさい。解答番号は⑭、⑮

- ⑭ オンケンな外交政策をとる
- ⑮ 会長就任をシヨウダクする
- ⑯ 先生に文章をテンサクしていただく
- ⑰ 古き時代へのキョウシユウを感じる
- ⑱ 美しい音色をツムき出す

第二問 選択問題 古文

次の文章は『住吉物語』の一節である。姫君には、入内の話や幸せな縁談が持ち込まれていたが、そのたびに継母に妨害されてしまう。継母の度重なる迫害に耐えかねた姫君はひそかに都から逃げ出し、尼君（とき実母の乳母）の住む住吉（現在の大阪市住吉区）に身を隠す。姫君に思いを寄せていた中將は、姫君が行方不明になったと聞いて悲しみ、懸命に探したが居場所はわからないままであった。以下の本文を読んで、あとの問いに答えなさい。なお、*印の付いた語句については、注を参照しなさい。

住吉には、月日の積もりゆくまに、いとあはれさままきり、「いかになるべき身にか」とおぼし嘆へ。尼君もうち泣きて、「わらはは残り少なき身にはべる。めでたうあたらしき御ありさまを、かかるあさましき衆の庵の内に押し籠めてまつりて、はかなくなりはべりなば、いかにならせたまふべき御ありさまに」と言ひつづけて泣けば、姫君うち泣きて、「世にありんど思ふ身ならばこそ」とて、泣きつづつ過したまふ。

中將は長月のころ、長谷寺に詣でたまひて、七日籠りて、また興となく祈り申せたまひけり。七日といふ夜もから行なひ明かして、曉方に少しまじろみたまふに、やごとなき女房の、うちそはみてあたまへは、わが思ふ人なり。うれしく、「かく悲きことを思はせたまふらん、いかばかり嘆くと知らせたまふ」とて恨みたまへば、姫君、「かくまでおぼしめすとは知りはべらず。御心さしありさま、ありがたく見れば、参りつるなり。今は帰らぬ」とて立ちたまふを、「いかに、おはし所を知らせたまへ」とて、袖をひかへたまへば、

わたつ海のそこも知らずわびぬれば住吉とこそ海人はいふなれ

とながめたまふと聞き、御返事するとおぼして、「うちおどろきたまひぬ」と思ふに、悲しき、言ふばかりなし。

「ひとへに仏の御教へなり。住吉を尋ねん」とおぼして、明けぬれば、出でたまふ。
山城の泉川より、御世の人を返して、むつましくおぼしめさるる御身、舍人童なるを具して行きたまふ。

（中略 中將は住吉に到着し、姫君を探す。）

旅の空は物あはれなるに、夕波千石あはれに鳴き渡りて、岸の松風物寂しき空に、^ア等々の琴の音ほのかに聞こえけり。その声、^イ盤渉調に調べて、けだかく澄みわたりにけり。「あなゆゆしの、人のしわざにはよもなどと思ひながら、その音に誘はれて、何となく立ち寄りて聞けば、^ウ釣殿の西面に、若き声二三人がほしけり。琴かき鳴らし、「松風、波の音もなつかしく、あはれ、都の人にかかる所を見せばや」などと語りつづ、「秋の夕べはあはれなるに」など言ひて、何となき古歌をながめけるを、^エ侍従に聞きなして、あなあさましと、胸うち騒ぎ、心をどめ聞きたまへば、いま少し忍びたる声して、

尋ねべき人もなきさの住の江にたれ松風の絶えず吹くらん

とながめたまふを、聞きたまへば、姫君の御声と聞きなして、「あなゆゆし、^オ仏の御しるしはあらたなる御ごとにて」とうられし。

注

* 七日籠りて……願い事がある場合、三日、七日等日数を決めて籠り、仏からのお告げを待つ風習があった。

* うちそはみて……横を向いて、視線を合わせずに。

* 夢と知りせば……小野小町の和歌「思ひつづ寝ればや人の見えつらむ夢と知りせば覚めざらましを」をふまえる。

* 旅の空……住吉に到着し、姫君を探してさまよっている中將の様子をいう。

* 等々の琴……中国から伝来した十三弦の琴。

* 盤渉調……琴の曲調の一つ。
* 人のしわざとはよも……人間が弾いているとは思えないほどの素晴らしい音色だ。
* 侍従……姫君についている女房。中將とも知り合っているため、中將は侍従の声を知っている。

問1 a の読みをひらがなで記しなさい。解答番号は 19

隨身^ア

問2 ①あたらしき の意味として、もっとも適切なものを次の中から選び、その記号をマークしなさい。解答番号は 20

- ア 過去に例がないほどすばらしい
- イ このまま終わるにはもったいない
- ウ 驚きあきれほど意外な
- エ 年齢を感じさせない若々しさの
- オ 人生をやり直し始めたばかりの

問3 ②はかなくなりはべりなば を現代語訳しなさい。解答番号は 21

問4 ③世にあり繕んと思ふ身ならばこそ の解釈として、もっとも適切なものを次の中から選び、その記号をマークしなさい。解答番号は 22

- ア この世で長くはまきられないと思っているからこそ、さまざまな後悔がわいてくるのです
- イ この世で生き延び、いつか都に戻ろうと思っているからこそ、今はこの地で耐えているのです
- ウ この世で味わわなくてもよい思いを多く味わった身なので、生きていてもつらいだけでしよう
- エ この世でまだ生きていたいと思う人こそが長生きできるのですから、気を強く持つべきです
- オ この世で生きながらえようと思っているならば悔いも残りますが、そのような思いはありません

問5 ④長月 とは何月のことか、もっとも適切なものを次の中から選び、その記号をマークしなさい。解答番号は 23

- ア 七月
- イ 八月
- ウ 九月
- エ 十月
- オ 十一月

問 6
 ⑤ いかばかり嘖くとか知らせたまふ。の現代語訳として、もっとも適切なものを次の中から選び、その記号をマークしなさい。解答番号は 24

- ア どれほど嘖いたか、あなたはご存じですか
- イ どれほど嘖いたか、知らせてくださいました
- ウ どれほど嘖いたか、お知らせしましょう
- エ どれほど嘖いたか、私は知っています
- オ どれほど嘖いたかなど、関係ありません

問 7
 ⑥ ①と文法的に同じものを次の中から一つ選び、その記号をマークしなさい。解答番号は 25

- ア 深き心さしを知らでは、あひがたしとなむ思ふ
- イ 飛ぶ鳥の声も聞こえぬ奥山の深き心を人は知らなむ
- ウ いと心憂き身なれば、死なむと思ふにも死なれず
- エ あるじの親王、酔ひて入りたまひなむとす
- オ ここには知らぬことなれば、定めがたくなむ

問 8
 ⑦ 御返事するとおぼして、うちおどろきたまひぬ。の具体的な説明として、もっとも適切なものを次の中から選び、その記号をマークしなさい。解答番号は 26

- ア 姫君が返事をしてくれたと思い、中将は意外に思った
- イ 中将も返事をしようと思ったところで、中将の目が覚めた
- ウ 中将が返事をしてくれるだろうかと思ひ、姫君の心は乱れた
- エ 姫君は即座に返事を思いついたので、姫君自身内心驚いた
- オ 姫君の返事がきけそうだと思ひ、中将の期待は高まった

問 9
 ⑧ 尋ねべき人もなききの住の江にたれ松風の絶えず吹くらん。という和歌の表現技法について説明した次の文章の二文字分の空欄には、一文字目に漢字、二文字目にひらがなが入る。(1)(2)に当てはまる二文字を、それぞれ記しなさい。解答番号は 27

「尋ねべき人もなききの」では、「人も(1)□□」と「落」を掛け、「たれ松風の」では「誰(2)□□」

問 10
 ⑨ 仏の御しるし。とは具体的にどのようなことであったか、もっとも適切なものを次の中から選び、その記号をマークしなさい。解答番号は 28

- ア 尼君のもとで修行していた侍従から事情を聞き、長年の誤解が解けたこと
- イ 夢のお告げにより、ずつと探していた姫君を見つけ出すことができたこと
- ウ 仏が姫君の声をかりて、恋をひきずるのは仏道の妨げになると説いたこと
- エ 別人の声を姫君の声だと思ひこむことで、この恋にあきらめがついたこと
- オ 姫君を追っていた過去に区切りを付け、仏道修行に入るように導かれたこと

問 11
 『住吉物語』は継子いじめに端を発する物語であるが、同様に継子いじめの話として知られる作品を次の中から一つ選び、その記号をマークしなさい。解答番号は 29

- ア 狭衣物語
- イ 栄花物語
- ウ 大和物語
- エ 落窪物語
- オ 雨月物語

第三問 【選択問題】 現代文

次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

① 川面に多くの舟が漂っている。私たちはひとりひとりが違う舟に乗って流されている。なかに、錨を下ろしている舟がある――川の流れを時の流れ、舟を人生にたとえたと、読書をしている人は、この錨を下ろした舟に乗っている人にとらえたいだろうか。そして、本を読んでいる時間とは、動かぬ舟のなかで、川の流れを感じるようなものだ。川は永遠に流れていく。水があるかぎり、流れることをやめようとはしない。そんなユウウツの時の流れを、ひととき止めた舟のなかで感じる。本を読むという行為は、そういうものだと思っている。

ところが、次のような事態を目の当たりにすると、じつにもつたないと思う。

二〇〇三年七月に『あらずして読む日本の名著』というタイトルの本が出て、それがけっこう売れたという。第一弾、三弾と続き『あらずして読む世界の名著』も生まれ、他社がこれに追随して類書を出し、ちよつとした「あらずし」ブームが起きた。

同書は、『浮城』『たけくらべ』『瀧舟』『風立ちぬ』『斜陽』『金閣寺』など、日本現代の代表的名作(といっても小説に限る)を、解説を含め各五ページぐらいでダイジェストしている。私立高校の校長と教師が、生徒たちが文学と出会うきっかけになればと、出版社に企画を持ち込んだと聞かす。主な読者層は中高生でなく中高年だったという。『誰もが知っている小説を読んでいる。せめて教養としてあらずしだけでも知っておきたい』。そんなふうに見えるらしい。

なんともつたないことをするんだ! 本を読む楽しさをすつ飛ばして、形骸としての結果だけを得ようとする。人生の辛酸をなめ、頭に白いものが混じろうかという年齢の人たちが、いまさら「風立ちぬ」のあらずしだけを知ってどうしようというのか。

そこに感じるのは、とにかくいまずや答えの得られるものを求めよとする拙速主義だ。マランソンの四十二キロ地点までは車で進み、最後の競技場のトラックだけ走ってゴールインするようになるものだ。

佐野『「だが」「本」を殺すのか 延長戦 Park』のなかに、著者と評論家の北上次郎との対談があり、そこで北上は「本」といのは即効性がない」と語っている。風邪薬などと違い、「非常に効き目が遅い」メディアだと言っている。そうだな。本というものはじわじわ効いてくる。あるいはそのときには気づかなくて、後になって考えると、ちゃんと効果があったんだな、とわかる。または、効き目がなくても、いつのまにか溶けて、静かに体内に吸収されてしまっている。本ってそういうものだろう。

だから、「本」というのは「Y」なものだ」と北上は言う。注目すべき発言である。ところが、現代は「Y」を嫌う。効率や至便性を重んじて、極力「Y」を切り捨ててきた。その点、本は、いやでも読む場を固定し、そこに自分の肉体を釘付けにし、いくばくかの時間を費やさなければならぬ。「読む」という意志も必要だ。「Y」なことこのうえい。

「そこに便利なるものを求めてしまったら、ものの中身が空質してしまうという怖さがあるでしょう」

北上は非常に重要なことを、静かに主張している。なぜ、そんなに急ぐのか。なぜ、とりあえずの結果や答えを求めようとするのか。仕事の上では、それは大切なことかもしれない。しかし、それは本の役目ではない。「あらずじ」だけ知って事足りりとしたのは、その本と出会うチャンス永遠に放棄してしまったことになる。本を読んでいる時間が惜しい？ いや、ほんとうに惜しいのは、**Z**「このほうだ」

前掲書で、デザイン評論家の柏木博と対談した佐野は、こんなことを言っている。「幻想がもしないけれど、僕は本というものは、時間の流れを一時で止めてみせることができるメディアだと思ふんです」われわれは否応なく時間によって動かされている。現代に生きる以上、そこから逃れることなどできない。画家のクレーは「人間という動物」を「血でできた時計」と定義した。われわれはまるで、血という電池で動いている時計、なんだ。

読書はそんな時間の流れに逆行する行為である。視覚と脳を通して、読めない人にとっては記号や模様にしかならない文字を、速やかに解読し、心と身体になじませていく。こうした奇跡のような行為は、文字通り、時間を忘れて没頭しなければできない。天体の運行も、この地球上のすべての時計の針も止め、ひとところじっとして、ただ本のなかを流れる時間だけに身を委ねる。そんな至福の時間を放棄して、「あらずじ」だけで答えを求めて何になるのだろうか。
なぜ人は本を読むのか。また、読まなければならぬのか。(中略)

世の中には、お金と時間を費やすんだつたら、その分だけの見返りが無いと事をはじめる気にならない、という人も多いだろう。たとえば、英語教室へ通うなら、時間のあいつや店員とのやりとりを英語でできるようになるとか、スポーツジムに通うなら、筋肉がついたりダイエットにもなる、といった具合である。しかし読書には、そのような目に見えるメリットは期待できない。じつは、そこにこそ読書のおもしろさがあるのだが、そのことがわかるまでには、かなりの数の本を読む必要がある。

この読書のメリットについては、さまざまな人がさまざまな言葉で語ってきた。そのひとつが、作家の読書論を集めた『読書と私』である。たとえば各氏はこう書いている。

「書物を読むことで得る大切な収穫のひとつは、他者を知ることだと思います」(色川武大)

「読書のたのしみのひとつは、私にとつてこの他人の人生を生きていること、他人になれる喜びかもしれない」(遠藤周作)

(中略)

二人は「他者(他人)」を知る(になれる)ことを読書の収穫として挙げている。たしかに、ふつうに生活する人にとつて、知る(この)できる人間の数は知れたものだ。サービス業に従事している人などは、一日には数十人、数百人も人間と接客するだろうが、しかしそれは「他人を知る」というほどのことではない。このように現実の世界では、他人を深く知るのは容易なことではない。いっしょに暮らす家族でさえ、自殺したり犯罪を起したりしてはじめて、心中の核心に触れるということもある。仕事場

の同僚や友人にしても、どれだけ相手の内実まで踏み込んで理解しているか、といえは、じつに怪しいものだ。

ところが本には、それが小説にしてノンフィクションにして自伝にしてエッセイ集になる、著者および登場する人物の生き方や性格、行動様式、考え方が凝縮して表れている。もちろん「他人を知る」ことにおいて、読書が万能であるというわけではない。本の中身や読み手の理解力が問われるべきなのは言うまでもないだろう。しかし、本を読むことで、他人を知る手がかりは得ることができる。また本は、実生活では知り得ぬ、膨大な人間のモデルを提供してくれる。しかも相手の忖度を気にせず、思うがまま、自由にそのモデルと触れ合うことができるのだ。

こうして本を読むことで、人間に対する理解力が深まる。世の中はじつにいろいろな人がいるんだなあ、ということが実感できるはずだ。そして、人間はときに単純で、ときにとても複雑な面を見せる。このポイントを押さえておけば、対人関係においてなにがしか役に立つことはあるだろう。

(岡崎武志「読書の腕前」)

問1 ユウ久の「ユウ」と同じ漢字を用いているものを次の中から一つ選び、その記号をマークしなさい。解答番号は **30**

- ア ユウ終の美をなす
- イ ユウ然とした態度
- ウ ユウ通がきかない
- エ ユウ大な景色
- オ ユウ好関係を築く

問2 **b**の読みをひらがなで記しなさい。解答番号は **31**

b 否応

問3 **動**かぬ舟のなかで、川の流れを感じるようなものだと、具体的にとのようなことをたとえているか、本文中から六十文字以内で抜き出し、はじめとおわりの五文字を記しなさい。解答番号は **32**

問4 **ない**と同一用法のものを二つ選び、その記号をマークしなさい。解答番号は **33**

- ア じつにもったいないと思う
- イ 中高生ではなく
- ウ そのときには気づかなくて
- エ 効き目がなくても
- オ 読まなければならぬ

問5 **浮世**と関連する事項を次の中から一つ選び、その記号をマークしなさい。解答番号は **34**

- ア 硯友社
- イ 浪漫主義
- ウ 観念小説
- エ 言文一致
- オ 自由民権運動

問 6

空欄 X にはいる語句として、もっとも適切なものを次の中から選び、その記号をマークしなさい。解答番号は 39

- ア 期待に違わず イ 皮肉なことに ウ 偶然にも エ 心残りなことに オ 詮方ないが

問 7

なんともつたないことをするんだ! とあるが、なぜ、もつたないのか、その理由を本文中の章段 I の語句を用いて三十字以内で記しなさい。解答番号は 36

問 8

空欄 Y にはいる語として、もっとも適切なものを次の中から選び、その記号をマークしなさい。解答番号は 37

- ア 無為 イ 不便 ウ 勝手 エ 無意味 オ 緩慢

問 9

空欄 Z にはいる語句として、もっとも適切なものを次の中から選び、その記号をマークしなさい。解答番号は 38

- ア 読書の時間を失ってしまった イ 誰もが知っている本を読んでいる ウ 効率よく読書できない
 エ 本の即効性に気づいていない オ 時間の流れを感じられない

問 10

本文の内容と一致するものには①を、一致しないものには②をマークしなさい。解答番号は 39、43

- 39 本を読むことを通して、現実社会で出会う人の意向を忖度することを学べるので、対人関係において何らかの役に立つという点は読書のメリットの一つである
 40 本には登場する人物の生き方や性格、行動様式、考え方などが凝縮して表れており、他者を知る手がかりが得られるが、そのためには読者の理解力が問われるべきだ
 41 読書は万能ではなく、現代社会で必要とされる効率や目に見えるメリットもないが、あらすじブームが起きるほどで、結局、人には本が必要なのである
 42 人生の辛酸をなめたような人が「あらすじ」だけを読んでわかったつもりになるのは拙速主義で、その人自身の中身が変質してしまう危険性がある
 43 読書は、本来記号や模様にすぎない文字を速やかに解読して心と身体になじませる奇跡のような行為で、それは時間の流れに逆らうことである

問 6

空欄 X にはいる語句として、もっとも適切なものを次の中から選び、その記号をマークしなさい。解答番号は 39

- ア 期待に違わず イ 皮肉なことに ウ 偶然にも エ 心残りなことに オ 詮方ないが

問 7

なんともつたないことをするんだ! とあるが、なぜ、もつたないのか、その理由を本文中の章段 I の語句を用いて三十字以内で記しなさい。解答番号は 36

問 8

空欄 Y にはいる語として、もっとも適切なものを次の中から選び、その記号をマークしなさい。解答番号は 37

- ア 無為 イ 不便 ウ 勝手 エ 無意味 オ 緩慢

問 9

空欄 Z にはいる語句として、もっとも適切なものを次の中から選び、その記号をマークしなさい。解答番号は 38

- ア 読書の時間を失ってしまった イ 誰もが知っている本を読んでいる ウ 効率よく読書できない
 エ 本の即効性に気づいていない オ 時間の流れを感じられない

問 10

本文の内容と一致するものには①を、一致しないものには②をマークしなさい。解答番号は 39、43

- 39 本を読むことを通して、現実社会で出会う人の意向を忖度することを学べるので、対人関係において何らかの役に立つという点は読書のメリットの一つである
 40 本には登場する人物の生き方や性格、行動様式、考え方などが凝縮して表れており、他者を知る手がかりが得られるが、そのためには読者の理解力が問われるべきだ
 41 読書は万能ではなく、現代社会で必要とされる効率や目に見えるメリットもないが、あらすじブームが起きるほどで、結局、人には本が必要なのである
 42 人生の辛酸をなめたような人が「あらすじ」だけを読んでわかったつもりになるのは拙速主義で、その人自身の中身が変質してしまう危険性がある
 43 読書は、本来記号や模様にすぎない文字を速やかに解読して心と身体になじませる奇跡のような行為で、それは時間の流れに逆らうことである